

科目名称：	造形表現指導法実習 I	
担当者名：	森田 ゆかり、太田 望	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
◎ 造形活動を通してこども・他者への理解を深める。 ・実践の場でこども・親子などの活動を支援するため、年齢や実態に即した内容・環境・対応などを考える。 ・造形活動を通して人と関わる面白さ、協働する喜びなどを知る。 ・「3つのD」のサイクルの中で学び、環境構成、コミュニケーション、支援の力を身につける。		
授業の達成目標・到達目標		
・こどもの姿（表情・行動・言葉）を捉え、記録し、次の活動に活かす技術を身につけている。 ・表現の手段や方法を対象者・場・ねらいに即して考えられる。 ・環境構成力（用具の整備を含む）が身につけている。 ・調べ学習や教材研究に対して主体的・計画的に取り組むことができる。		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP (2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	
DP (3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP (4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身につけている。	○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP (1)					0
幼児教育DP (2)					0
幼児教育DP (3)					0
幼児教育DP (4)			60	40	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 森田 アートスクール講師（2歳児～小学生の絵画・造形指導）	《経験年数1》 2年6か月
	《内容2》 森田 アートディレクター（こども対象のワークショップなど企画・実践）	《経験年数2》 4年10か月
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
グループワーク・プレゼンテーション（ディスコース）	他者の考えを尊重し、自分の考えを他者が納得できるように伝えることができる。	他者の考えを尊重し、自分の考えを論理立てて伝えることができる。	他者の考えを尊重し、自分の考えも伝えることができる。	自分の考えが他者に伝わらない。活動にあまり参加していない。
指導案作成（デザイン）	表現の手段や方法を対象者・場・ねらいに即して応用して考えられる。	表現の手段や方法を対象者・場・ねらいに即して考えられる。	表現の手段や方法をねらいに即して考えられる。	表現の手段や方法をねらいに即して考えられない。活動にあまり参加していない。
主体的・計画的取り組み（事前学修を含む）	授業の目標を理解し期待以上の主体的な学修が見られる。	授業の目標を理解し主体的・計画的に取り組んでいる。	授業の目標を理解し主体的・計画的に取り組もうとしている。	主体的・計画的に取り組めない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 指導案1 「素材」「行為」からこどもの興味・関心を探り、指導案を考える（電子黒板使用）	1年次の指導案作成に関する授業内容を復習。	30分
第2回 指導案2 指導案を考えるための教材研究1（グループワーク）	「造形教材研究」の授業で行なった「教材研究」の考え方を復習。	15分
第3回 指導案3 一人ひとりが指導案作成	第1回の授業内容を復習。調べ学習。	30分
第4回 指導案3 一人ひとりが指導案作成	第1回の授業内容を復習。調べ学習。	30分
第5回 指導案4 グループで一つの指導案作成 ディスカース（グループワーク）	第3回、第4回の授業内容を復習。	15分
第6回 指導案5 指導案を考えるための教材研究2（グループワーク）	第5回の授業内容を復習。	15分
第7回 指導案6 指導案を考えるための教材研究3→グループで一つの指導案作成（グループワーク）	第6回の授業内容を復習。必要な物を準備しておく。	30分
第8回 指導案6 指導案を考えるための教材研究3→グループで一つの指導案作成（グループワーク）	第6回の授業内容を復習。必要な物を準備しておく。	30分
第9回 指導案7 指導案8種類を配付 作成グループによるプレゼンテーション・共有	第6回から第8回の授業内容を復習。要点をまとめておく。	20分
第10回 指導案7 指導案8種類を配付 作成グループによるプレゼンテーション・共有	第6回から第8回の授業内容を復習。要点をまとめておく。	20分
第11回 実習の振り返り・共有 公開講座、オープンキャンパスについて（電子黒板使用）	実習記録から、造形に関する記録の要点をまとめておく。	30分
第12回 対話型鑑賞（公開講座）（グループワーク/電子黒板使用）	「造形表現指導法」第4回、第5回の授業内容を復習。	15分
第13回 対話型鑑賞（公開講座）（グループワーク/電子黒板使用）	「造形表現指導法」第4回、第5回の授業内容を復習。	15分
第14回 オープンキャンパス「高校生の体験授業」	1年次「保育内容・表現Aの指導法」第12回の授業内容を復習。	15分
第15回 オープンキャンパス「高校生の体験授業」	1年次「保育内容・表現Aの指導法」第12回の授業内容を復習。	15分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては、上記内容以外に次回までの小レポートをまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
指導案50%、事前学修課題およびワークシート10%（毎回配付されるワークシートを授業内で各自作成し提出）、グループワーク・プレゼンテーション40%

課題に対するフィードバック

「ドキュメンテーション」をもとに、グループで「ディスコース」（必要に応じて全体で「ディスコース」）し、次の活動を「デザイン」する授業を行っている（レジジョ・エミリアの「3つのD」 KINJO特化造形表現モデル）。

教科書・参考書

教科書：『美育文化ポケット 第29号～第32号』公益財団法人美育文化協会、『子どもが絵を描くとき』磯部錦司著 一藝社
教科書は授業で適宜使用する
参考書：『これで安心！保育指導案の書き方』開仁志編著 北大路書房、「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」、必要に応じてプリント配付